

公民連携による地域課題解決

新規

重点

予算額 1,115万5千円

副題：民間企業との連携の強化による持続可能なまちづくりを目指します

ポイント

変化を続ける社会経済状況や区民ニーズに柔軟に対応していくためには、行政の力に加え、民間企業等が持つ様々な知見やノウハウを活用することが効果的です。区は、平成31年1月に策定した「大田区公民連携基本指針」に基づき、民間企業との連携を加速・強化していくことにより、質の高い区民サービスの提供、地域課題の解決、地域の活性化を実現し、持続可能なまちづくりを目指します。

事業概要

1 店舗等を活用した区政情報の発信

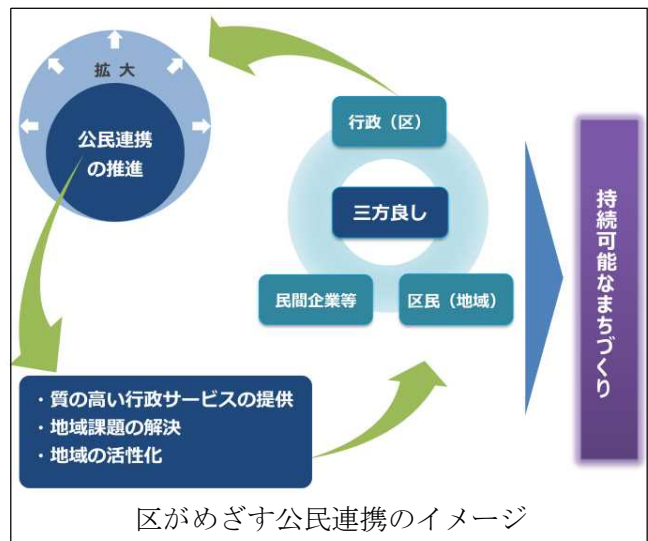
115万5千円

多くの区民が利用する民間企業の店舗等のスペースを活用し、様々な区政情報を発信するための設備を充実します。

2 事業者と連携したまちづくり

1,000万円

区内の地域交通を担う鉄道事業者と連携し、駅を中心とした地域の持続的な発展に向けたまちづくりを推進します。空き店舗等の遊休資産を活用したリノベーションまちづくり事業や、まちづくり人材の育成等により、地域のさらなる活性化や新たな賑わいの創出を目指します。



問合せ先	担当部課	企画経営部	企画課
	課長	山田	電話 5744-1121
	担当者	須田	電話 5744-1444

3-2
魅力あるまちづくり

交通事業者連携事業

新規

重点

予算額 700万円

副題：交通事業者との公民連携で商店街のにぎわいを支援します

ポイント

交通事業者が行う周年記念イベントやスタンプラリー等に合わせ、沿線の商店街や個店が連携し、沿線単位で同時イベント、期間限定メニューなどのキャンペーンを展開することで、商店街や個店の魅力発信強化につながるよう支援します。

交通事業者と商店街・個店との連携を支援することで、単独企画による事業実施より大きな経済波及効果を生み出し、エリア（沿線）全体での商業活性化を図ります。

事業概要

これまで大田区では、「商店街連合会宣伝事業」として、エリア単位でキャンペーンを行い、商店街活性化を図ってきました。平成30年度は連携事業として東京急行電鉄とは「どんと来い！幕末・明治プロジェクト」や「生活名所池上線全線祭り」を、京浜急行電鉄とは「おおたスイーツキャンペーン」を行いました。

電鉄会社など地域に根差し、日常生活に密着した交通事業者と商店街・個店が連携することにより、注目度が増し、メディア等による宣伝効果や経済波及効果が図れるため、31年度からは「交通事業者連携事業」として事業を進めます。

具体的には、31年度に3年目を迎える東急池上線生活名所プロジェクト、開通70周年を迎える東急大井町線、京急本線や京急空港線で行われる各種企画に参加する商店街・個店に対してキャンペーンに参加しやすい体制づくりを支援します。

京浜急行電鉄との連携事業
「おおたスイーツキャンペーン」



問合せ先

担当部課	産業経済部	産業振興課
課長	小澤	電話 5744-1337
担当者	川島	電話 5744-1373

池上駅改築支援及び池上地区のまちづくり

実計

重点

予算額 3億6,062万6千円

副題：池上駅の改築を支援するとともに、池上図書館を池上駅ビルに移転し、池上地区の魅力あるまちづくりに取り組みます

ポイント

区は、平成32年度の完成を目指して、東急電鉄が進める池上駅の駅舎改築及び駅ビル建築を支援します。駅ビルには、公共公益施設として池上図書館が移転するなど、駅利用者及び地域住民にとって、利便性の高い駅空間をつくります。また、池上地区においては、地域の魅力を活かした安全で快適なまちづくりに取り組みます。

事業概要

1 鉄道駅総合改善事業

本事業は鉄道利用者の利便性や安全性の向上を図るとともに、地域社会にとっての新たな生活拠点をつくるため、鉄道事業者が行なう駅舎改築及び駅ビル建築の一部を助成するものです。

29年度から事業を開始し、32年度の完成を目指しています。



駅イメージパース（出典：東急電鉄株）

2 池上図書館の移転

駅ビルに池上図書館を移転し、「池上ならではのトキをつくる図書館」として整備します。利用者の利便性と、図書館の魅力の向上を図ります。

31年度は実施設計を行い、駅ビルの完成に合わせて、32年度に移転・開館を目指します。

3 池上駅及び池上本門寺周辺地区のまちづくり

池上駅及び池上本門寺周辺地区において、だれもが安全で快適に過ごせるまちを実現するため、地域住民等と連携しながら、都市基盤施設整備や景観整備など、まちづくり事業の具体化に向けた取り組みを進めていきます。

問合せ先	担当部課	上記1	まちづくり推進部	都市計画課
		上記2	教育総務部	大田図書館
		上記3	まちづくり推進部	都市開発課
	課長	上記1	山田	電話 5744-1691 (公共交通企画担当)
	館長	上記2	中平	電話 3758-3471
	課長	上記3	近江	電話 5744-1454 (地域整備担当)
	担当者	上記1	清家	電話 5744-1303
		上記2	小島	電話 3758-3471
		上記3	山田	電話 5744-1339

地域力応援基金助成 **重点**

予算額 2,308万8千円

副題：地域活動の充実を目指し地域力応援基金助成事業をリニューアル

ポイント

地域力応援基金助成事業は、区内で活動する団体が取り組む公益的で非営利な活動を支援する仕組みです。事業開始から10年が経過し、これまでの成果や課題を踏まえ、事業を見直します。本事業を通じて地域の連携・協働を促進させ、さらに地域力を向上させます。

事業概要

活動段階に応じた助成メニューへ再編し、地域で活動する団体に効果的な支援ができるよう見直します。

新助成事業

スタートアップ助成

助成額 ～20万円（継続～15万円）

○団体の基盤事業の確立を支援します

ステップアップ助成

助成額 ～40万円（継続～30万円）

○基盤事業の規模拡大や発展を支援します

チャレンジ助成(チャレンジプラス助成)

助成額 ～200万円（継続～150万円） ※～250万円（継続～187万円）

○新たな地域課題や新規事業に挑戦し、地域の連携・協働の深まりが期待できる事業を支援します

※チャレンジプラス助成・・・区が示すテーマに即した提案事業へは増額

↑
団体の基盤事業への支援による地域力の育成
↓

↑
地域力と行政の連携・協働がつくる持続可能なまちづくりの推進
↓

問合せ先	担当部課	地域力推進部	地域力推進課
	課長	武藤	電話 5744-1225（区民協働担当）
	担当者	佐藤	電話 5744-1204

蒲田西地区公共施設の整備

新規

実計

重点

予算額 9億5,072万2千円

副題：蒲田西地区公共施設の整備計画を推進します

ポイント

蒲田西地区では、大田区民センター跡地に、乳幼児から高齢者まで様々な世代が利用しやすく、健やかにいきいきと活動できる地域拠点「(仮称)新蒲田一丁目複合施設」を整備します。

また、蒲田西特別出張所の旧庁舎を大規模改修し、今後も活用していくことで、区民サービスの維持・向上を図ります。

事業概要

1 (仮称)新蒲田一丁目複合施設新築工事 9億2,855万1千円

(1) コンセプト

- ア 地域力の拠点 ～地域活性化につながる地域活動の場の充実～
- イ 子どもの拠点 ～子どもの生活環境の向上～
- ウ 高齢者の拠点 ～切れ目のない支援を行う高齢者施設の充実～

(2) 施設概要

- ア 区民活動施設、文化活動支援施設 (多目的ホール)
- イ 新蒲田保育園、子育てひろば、中高生ひろば
- ウ 地域包括支援センター・シニアステーション

(3) 整備スケジュール (予定)

- 平成 31～33 年度 旧施設解体工事、建設工事
- 平成 33 年度～ 運営開始

2 蒲田西特別出張所大規模改修工事

2,217万1千円

現在、蒲田西特別出張所は、大田都税事務所1階へ一時移転をしています。蒲田西特別出張所の旧庁舎は、大規模改修工事を行い、今後も活用していきます。

(1) 整備スケジュール（予定）

平成31年度 実施設計
 平成32年度 大規模改修工事
 平成33年度～ 蒲田西特別出張所（仮庁舎）として使用

問合先	担当部課	上記1(2)ア・2 地域力推進部 蒲田西特別出張所 上記1(2)イのうち「新蒲田保育園、子育てひろば」 こども家庭部 保育サービス課 上記1(2)イのうち「中高生ひろば」 こども家庭部 子育て支援課 上記1(2)ウ 福祉部 高齢福祉課
	所長	上記1(2)ア・2 荒浪 電話 3732-4785
	課長	上記1(2)イのうち「新蒲田保育園、子育てひろば」 白根 電話 5744-1276
	副参事	上記1(2)イのうち「中高生ひろば」 曾根 電話 5744-1731（放課後居場所づくり担当）
	課長	上記1(2)ウ 堀 電話 5744-1255
担当者	上記1(2)ア・2 小松 電話 3732-4785 上記1(2)イのうち「新蒲田保育園、子育てひろば」 根本 電話 5744-1279 上記1(2)イのうち「中高生ひろば」 高橋 電話 5744-1273 上記1(2)ウ 降旗 電話 5744-1250	

大森西地区公共施設の整備

実計

重点

予算額 8,464 万円

副題：大森西地区公共施設の整備計画を推進します

ポイント

大森西地区は、大森西区民センターをはじめ、多くの公共施設で施設更新が喫緊の課題です。区民活動支援施設大森（こらぼ大森）の暫定利用期間の終了を機に、新たな行政需要への対応も含め、公共施設の再編と今後の取り組みを検討していきます。

事業概要

1 大森西地区公共施設整備工事等

区民活動支援施設大森（こらぼ大森）の敷地を中心に、周辺の公共施設の集約・複合化を行い、多世代の方が多く集う地域の活性化拠点を整備することにより、区民の利便性の向上を目指します。

整備スケジュール

平成 31～32 年度	基本設計・実施設計
平成 33～35 年度	建設工事（Ⅰ期）
平成 36～37 年度	建設工事（Ⅱ期）

問合先	担当部課	地域力推進部	大森西特別出張所
	所長	石原	電話 3764-6321
	担当者	倍賞	電話 3764-6321

田園調布地区公共施設の整備

新規

実計

重点

予算額 3億1,925万1千円

副題：田園調布せせらぎ公園を中心とした施設整備を推進します

ポイント

(仮称) 田園調布せせらぎ公園文化施設は、「崖線の自然と共存し、多様な活動を受け入れる田園調布せせらぎ公園『森の縁側』」をコンセプトに実施設計を進めてきました。平成32年度の開設を目指し整備を進めています。

体育施設は、(仮称) 田園調布せせらぎ公園文化施設運営開始後、工事に着手する予定です。

事業概要

1 (仮称) 田園調布せせらぎ公園文化施設の新築工事

2億9,897万円

自然の情景や豊富な湧き水を活かし、崖線(がけ地)の景観に配慮し、田園調布せせらぎ公園休憩所及び田園調布富士見会館の集会室機能を集約します。

施設には、公園の緑を眺めながら飲食や読書が可能な休憩スペースに加え、体験学習やサークル活動など多目的な利用ができる多目的室、最大200㎡の広さでの利用が可能な集会室等を配置します。

整備スケジュール

平成31～32年度 新築工事

平成32年度～ 運営開始

2 田園調布富士見会館の整備**1,260万円**

田園調布富士見会館の大規模改修工事を行い、田園調布特別出張所と地域包括支援センター田園調布を移転する予定です。

特別出張所と地域包括支援センターとの複合化により、施設の機能強化を図ります。

整備スケジュール

平成31年度	実施設計
平成32年度	大規模改修工事
平成33年度～	運営開始

3 (仮称) 大田区田園調布せせらぎ公園体育施設の整備**768万1千円**

区民利用が可能な体育施設の整備に向け、31年度は地盤調査を行います。

整備スケジュール

平成31年度	地盤調査
平成32年度～33年度	実施設計

問合せ先	担当部課	上記1・2・3	地域力推進部	田園調布特別出張所
			上記2のうち「地域包括支援センター田園調布」	
			福祉部	高齢福祉課
	所長	上記1・2・3	藤倉	電話 3721-4261
	課長	上記2のうち「地域包括支援センター田園調布」	堀	電話 5744-1255
	担当者	上記1・2・3	保坂	電話 3721-4261
		上記2のうち「地域包括支援センター田園調布」	降旗	電話 5744-1250

図書館 I C タグシステムの整備

新規

実計

重点

予算額 1 億 6,681 万 5 千円

副題：区立図書館の蔵書・資料管理の I C T 化を進めます

ポイント

現在、区立図書館での貸出予約は全体の約 77%がインターネットにより行われ、I C T 化が進んでいます。こうした多様化する利用形態や区民ニーズに対応するため、I C タグを活用したシステムを整備し、運営業務の改善とさらなるサービスの向上を図ります。平成 31 年度は I C タグシステム整備の準備段階として、図書館の既存蔵書・資料への I C タグ貼付を行います。

事業概要

1 図書館既存蔵書の I C タグ貼付

I C タグシステムの整備の準備段階として、大田区立図書館全館（16 館）及び大田文化の森情報館の既存蔵書（視聴覚資料を含む）約 200 万冊の I C タグ貼付と資料 I D 等のデータ書込み作業を行います。

2 システムの導入効果

自動貸出・返却機を導入することで、貸出及び返却処理時間が削減されるため、利用者にとっての利便性が高くなります。また、窓口業務が軽減できるため、レファレンスや案内業務の充実が図れ、専門性の高い図書館サービスを提供できます。

3 整備計画（予定）

平成 31 年度 既存図書の I C タグ貼付

平成 32 年度 自動貸出機・返却機、出入口ゲート等システム機器の全館設置

平成 33 年度 システム運用開始

問合せ先	担当部課	教育総務部 大田図書館		
	館長	中平	電話	3758-3471
	担当者	青木	電話	3758-3051

生涯学習センター蒲田の機能充実

重点

予算額 78万5千円

副題：生涯学習相談会の拡充を図ります

ポイント

区民ボランティアの（仮称）生涯学習相談員による学びに関する相談会やイベント等の情報提供を充実させ、区民の社会参加を促進します。

事業概要

1 （仮称）生涯学習相談員の配置

週1回、生涯学習センター蒲田に（仮称）生涯学習相談員を配置し、生涯学習相談に応じます。講座・イベントやサークル活動等の情報について、参加者の立場に立って紹介し、区民の学びを支援します。



問合先	担当部課	地域力推進部	地域力推進課
	課長	武藤	電話 5744-1225（区民協働担当）
	担当者	深谷・渡邊	電話 5744-1443

区民協働・生涯学習情報誌の拡充

新規

重点

予算額 297万4千円

副題：地域活動や生涯学習の講座などのイベント情報を幅広くお届けします

ポイント

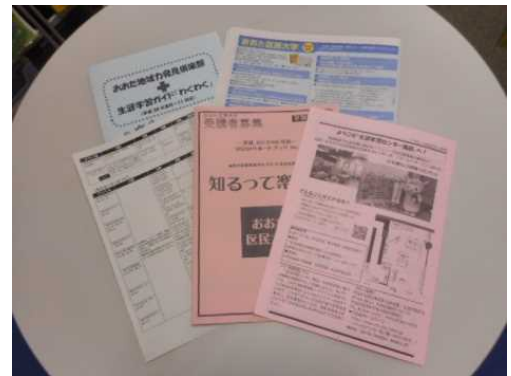
地域活動や生涯学習の情報をより多くの区民の方へお知らせするため、既存の冊子を統合し、情報を集約したタブロイド紙を新聞折り込みにて自宅に届けます。本事業を通じて、区民の地域活動への参加を支援し、区民の社会参加を促進します。

事業概要

1 広報機能の拡充

高齢者や子育て中の方、初めての方でも参加しやすい地域活動や生涯学習の講座を見やすくまとめた統合版のタブロイド紙を発行します。

区内公共施設での窓口配布だけでなく、新聞折り込みにより自宅まで届け、講座、イベント、地域活動情報など広く周知を行うことで、参加者を増やし、これからの地域活動を支える新たな担い手の発掘につなげます。



問合せ先	担当部課	地域力推進部	地域力推進課
	課長	武藤	電話 5744-1225 (区民協働担当)
	担当者	渡邊・深谷	電話 5744-1443